Disease prevention ▶ No.18

ふくちの健康お悩み相談所

Q 1歳の子どもが誤ってコインを飲んでしまいました。こんなことが無いように、今後はどのようにしたらよいでしょうか？

A 実はわが国の1～9歳の死亡原因のトップは、このような「事故」によるものです。そのため起きやすい事故を把握し、防止に努めることが必要です。

【誕生～5か月】

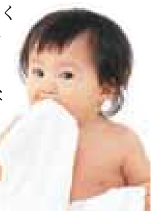
起きやすい事故として、転落、窒息、やけどなどがあります。ベッドの柵を必ず上げる、高いところに1人で寝かせない、ふかふかの布団を使用しない、熱いものを扱うときには子どもの位置を確認する、近距離でもチャイルドシートを使用するなどの対策が必要です。

【6～12か月】

タバコやコインの誤飲、溺水（できすい）（水による窒息）などが多くなります。何でも口に入れるので直径3センチ以下の小物、灰皿などは高いところに置く、浴室に外鍵をつけるか浴槽の水を必ず全部抜くなどの対策が必要です。

【1歳～2歳】

ビニール袋などによる窒息、遊び中の交通事故、コンセントからの感電などが多くなります。道路の近くで遊ぶときには常に監視が必要です。ピーナッツなどの小さくて丸い物、棒状のニンジンやセロリ、ガムなどは窒息する危険があるので与えないようにしましょう。



▶乳児期は、鼻や口を覆ってしまうタオルなどを近くに置かないように。

コーナー担当医：方城診療所 牟田広実副所長

健康に関するお悩みにアドバイスします。企画課広報・広聴係まで電話かメールでお気軽にお寄せください。☎22-7766　s.kouhou@town.fukuchi.lg.jp

児童センター

親子でウオークラリー

秋の涼しい空気の中、見慣れた道を親子で歩いてみませんか？アンビシャス広場活動の一環で「親子でウオークラリー」を行います。

日時　11月18日(日) 9時30分～
集合　9時集合（児童センター前）
※詳しくは、学校で配布する用紙をご覧ください。

←昨年は73人の親子が参加。

問 福智町方城児童センター　☎22-7403
9:00～18:00【休館日】毎週火、第3日

子育て支援センター

育児に悩んでいるかたへ…

子どもの心理状態によって、どう関わってあげればよいか分からない…　などと悩んでいるお父さん、お母さんのために、子どもの心理に詳しい岡本健二さんを招いて育児講演会を開催します。悩みの解決の糸口がつかめるかもしれませんよ。ぜひお気軽にご参加ください。

日時　11月8日㈭ 10時30分～
場所　子育て支援センター
テーマ　子どもの成長を支えるために ～保護者の役割～
講師　岡本健二さん（久留米市児童相談所所長等。児童相談所の心理判定員。）

子育て支援センターの11月の行事予定　すべて10：30開始

2日㈮＊誕生会　8日㈭＊育児講演会
14日㈬＊親子リズムあそび
28日㈬＊サロンで遊ぼう（一品持ち寄り交流会）
自慢の料理を一品持ち寄り、賑やかなランチを楽しみませんか？

※12月は6日㈭に誕生会、9日㈰にもちつき大会を予定しています。

問 地域子育て支援センター
☎22-2401
【サロン開放】10:00～15:00
【休館日】土、日、祝

Child care support

投稿傑作

福智町金田短歌教室詠草

墨の匂ひしみつきしこの絨毯を「お世話になった」と箱にしまいぬ　加治 智子
炎天に夾竹桃の紅さかり「原爆の歌」胸にせまりく　岡野 富司生
慶応の三田のキャンパス見せるとふ孫に連れられて暑き最中を　白石 信子
赤池の駅舎にそそぐ蝉時雨青空の下桜の樹より　辻田 幸也
自立せよと言へるがごとき仏前の夫の遺影に見つめられゐし　武藤 鶴代

養命大学・俳句教室　池田一歩選

蝸牛水平線に傾きて　安田 健一
秋耕や土の匂ひに包まれて　亀谷千恵子
蓑虫の巣作り風に遊びつゝ　宇野八重子
捥ぎ立ての産地直送梨届く　寺内ノブエ
満載の軽トラ走る豊の秋　森 玲子
故里の見あきぬ山河花芒　白石 幸子
鮎川へ傾ぐ木々よりもみづれる　小場 妙子
野良猫の何時もの居場所石蕗の花　丸山 鈴子
吊橋の空中散歩紅葉狩　吉田 弘
天高し孫の支へに勇気湧く　池田 駒女

福智町金田俳句教室　岩井鬼童選

水分の神の恵みや稲稔る　日比生利子
月今宵乙女の像が笛を吹く　永尾喜美江
芋の秋昔が眠る古墳村　建部三由紀
出来秋の山湖に戻る水の音　松岡 蔦枝
栗の飯入れ歯の音を驚かす　香月 冨子
平安の雅を今に月祀る　長副美恵子
月を待つうさぎの茶菓子戴いて　迫田 昌子
分譲地伸び放題に葛の蔓　今井三千代
籾摺機風躍らせて吐き出せり　小川 雪
独り居に今宵の客のちちろ虫　花石かほる

方城句会　池田一歩選

青一面大豆畑の光る朝　杉 フジエ
露天湯に独りつくつくぼうしかな　桑野 昌宜
先ず朝の仕事としての菜虫とり　渡辺 一枝
紅あげてローカル線の葛の花　野村 鈴子
爽籟やグレコの歌は背後より　藤井耿之介
振塩の残る俎板秋刀魚焼く　松本美根弥
束ねても寂しき色や藤袴　尾崎 和子
秋の日を避けて買物足早に　永末 公恵
掃き清め那津の浜の放生会　白石 凡子

第54回日本伝統工芸展に上野焼作家3人が入選

「第54回 日本伝統工芸展」に、福智町から次の上野焼窯元の作品が入選。渡さんが日本陶芸展に続く親子入選を果たしました。

写真上から熊谷無造さんの「上野茄子茶入」、渡久兵衛さんの「上野鉄釉櫛目文水指」、渡仁さんの「上野ヤケ釉鉢」（図録番号順）

【福岡での展覧会】

昭和29年から開催されている「日本伝統工芸展」が、今年も東京をはじめ12会場で開かれます。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸、7部門からなる国内最大規模の公募工芸展。今年の応募作品は約2,302点、そのうち入選作品を中心に748点が展示されます。

会場：福岡天神岩田屋（入場無料）
会期：平成20年2月13日㈬～18日㈪

▶絵や写真、工作など、みなさんの力作を紹介します。
〒822-1292 福智町金田937番地2　福智町役場企画課広報・広聴係まで作品を郵送または持参してください。（作品はお返しします。）
応募者多数の場合は掲載できない場合もありますのでご了承ください。